

# 令和3年度 学校努力点

## 1 主題 読む力をのばす子ども

### 2 ねらい

一昨年度に、主題「本はともだち」、サブテーマ「読書の楽しさを味わい、本に親しむ子を育てる」を掲げ、国語科に関する努力点研究が始まった。これは、本校児童は国語科「読むこと」の正答率が低いという学力調査の結果を課題と捉えたことに端を発している。

昨年度は主題「本はともだち」、サブテーマ「読む力を育て、本に親しむ」を掲げ、国語科の授業で、児童に読む力を身に付けさせるために物語の单元において様々な手立てを考え実践した。

その結果、児童に読む力を身に付けさせることができたという評価、検証が多くあった。一方で、学校評価において、保護者への設問「お子さんは授業を通して『読む力』を伸ばしていると思いますか？」では平均 2.8 点（4 点満点中）で、児童や教職員の評価と比べると低く、家庭に伝わるような児童の読む力を十分に身に付けさせることができなかったと考えられる。

また、読む力を身に付けるためには継続することが必要であるという指摘が教職員、保護者から多数あった。

そこで、今年度は「読む力をのばす子ども」を主題に掲げ、昨年度に引き続き、児童に読む力を身に付けさせるための手立ての研究を進める。特に、読む力を「重要な語や中心となる文を見付け、叙述を基に想像したり、考えをまとめたりする力」と考え、このことを共有して実践を進めることで、より効果的な指導方法を研究する。また、一昨年度、昨年度で成果があった指導方法や新たに開発された指導方法を継続することにより、児童の読む力をより一層高めていきたい。

なお、読む力をのばすことは、よく考える児童を育てることと連関することから、本研究は、学校教育目標である「自分らしさを出し、よく考える子」へとつながると考える。

